

一流を育てる感想文

安嶋 凜音

今回、要約文を初めて書かせて頂いた本を
読むのが苦手なのに読むのが遅いだろうと思
っていましたが読みやすかったです。スラスラ
と読むことができて分かりやすかったです。ま
めやかかったです。

秋山木工の「職人心得三十箇条」を読ん
で自分が今でできることあるのか振り返って
みると、ほとんどあてはまらないと思います。

た。挨拶も何か作業をしながらになっ
て気持ちのよい挨拶になっ
てしまっ
た。顔
もやらな
い。他の事
をおろそ
かにして
しまっ
た。野
が狭くな
ってしま
うので、
余裕を
持つて
行動す
るよう
に冷静
な行動
をしない
といけない
なと思
いました。
人に会
う時は
第一印象
が大事と
あります。
第一印象
を良く
見える
のは、
やはり
笑顔だ
と思
います。
マソリ

秋小社長が、親厚行できた人は一流の職人なんだ。と、おっしゃった。自分の親を大切にできなかった。大事なお客様も大切にできるわけがない。私は、一年ほどエステティシャンになる事に反対された。親の反対された意見も理解できなかった。と、締めたい気持ち強くやると許した。もたえらる事が、今こうして働くようになった。胸を張って、エステティシャンになれた。よかった。と言えよう。と、そして立派になつたと言。てもらえるように先輩方の指導を素直に受け入れ成長できるように日々努力させていただきます。